

## 令和5年度 第2回 清竜中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年7月12日（水）13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 清竜中学校 多目的室
- 3 出席委員 田村和史、藤井信男、西田躬穂、内藤留美子、森下伸弘、平野尚美
- 4 欠席委員 阿蔵直子、出野光雄、鈴木省吾
- 5 学校支援コーディネーター 野口めぐみ
- 6 学校 野中崇（校長）、嶋田喜守（教頭）、鈴木政晴（CS担当）、湯澤亜湖（ディレクター）
- 7 教育委員会 なし
- 8 傍聴人 なし
- 9 協議事項
  - (1) ICTを活用した授業について  
(授業参観の感想とタブレット端末の体験を含む)
  - (2) 部活動の結果を称揚する横断幕の掲示場所について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 湯澤亜湖

### 11 会議記録

議長から委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) ICTを活用した授業について

(授業参観の感想とタブレット端末の体験を含む)

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき ICT を活用した授業についての説明、及びタブレット端末の体験があり、委員からは以下の発言があった。

##### ●良い点

- ・板書が省略されたため、授業の進度がスムーズである。
- ・みんなの前で発表することが苦手な生徒も発言しやすい。
- ・他の生徒の意見を素早く集約、共有して閲覧できる。
- ・カメラ機能等を使用して授業が円滑に進められる。

(例) 理科の実験の際、対象物のスケッチや教員の確認作業を省略できる。

##### ●課題点

- ・タブレット端末の容量が足りないのではないか。(1GB)
- ・タブレット端末を家庭に忘れてきた生徒への対応をどうするのか。

- ・ 教員によって ICT を活用するスキルの差はないのか。
  - ・ 過去の授業をタブレット端末で遡って確認する際に手間がかかる。簡単に確認できるノート等への記録をどう行うのか。
  - ・ 出身小学校によって ICT を活用するスキルの差はないのか。
  - ・ 資料写真や動画だけでなく実物を生徒へ見せる必要もあるのではないのか。
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 部活動の結果を称揚する横断幕の掲示場所について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき部活動の結果を称揚する横断幕の掲示場所について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ① 部活動の結果を称揚する横断幕の掲示場所候補について。
  - ・ 下阿多古地区…ふれあいセンターきずな館テラス
  - ・ 二俣地区…JA 遠州中央天竜支店 川沿い木柵
  - ・ 上記地区については先方へ依頼済み。今後、了承を得る予定。(教頭)
- ② 誰が設置、回収するか。
  - ・ 2人程度で作業可能。父兄からボランティアを募ってみてはどうか。(森下委員)
- ③ どれくらいの期間で張り替えるか。
  - ・ 3カ月程度。(森下委員)
  - ・ 横断幕の枚数にもよるが、大会前、大会後と数週間ごとに張り替えてもいいのかもしれない。(野口委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

- ・ 清竜中学校20周年記念に向けて
- ・ 同窓会の組織について
- ・ 第3回学校運営協議会熟議内容について
- ・ 司会から次回会議は、令和5年11月27日(月)14時から多目的室で開催する旨の報告があった。

以上